

武田四郎二様

吹言月之み子

九印し中むむと様
朝晩を

後びらく杉ありませ
何時か

何れも無沙汰を
なれ

何卒更しりく
なれ

手後迄
なれ

様
なれ

甲らや
先周木曜り

休事
なれ

美う
なれ

中
なれ

百
なれ

て
なれ

為
なれ

お母が金部いふてゆりまて
せんも、残念で、たまりあせむが、是れ
つらいつらうな、おちまは、こけり、だ
ん、持た、え、な、物と、松、心、傳、て、死、な
念、に、思、つ、て、ゆ、り、ま、す、と、い、つ、け、が、我
會、の、ま、ま、お、社、申、し、ら、う、ま、す、

と、お、お、も、去、る、お、り、始、め、ま、り、一、り
ま、け、と、田、中、に、行、つ、て、た、り、ま、た、丁、者、

妻、の、九、年、の、思、い、あ、た、り、妻、の、先、に、お、お、

先、立、者、一、月、の、供、養、心、も、心、結、せ、ま、

言、ひ、生、け、の、足、掃、嫌、に、金、部、屋、の、

時、写、の、書、が、け、又、物、も、な、り、ま、り、

何、と、も、な、り、後、の、ど、共、口、を、し、戦、後、

随、分、と、書、り、ま、り、妻、の、お、家、を、

1890年 (1890年)

もうおはし世々牛の^後、^新者も^返西者

ではおはし世々牛の^後、^新者も^返西者

北有名な長や門をけ残して住へし世々

おし集りけりしに、^私の^実婦^戦前

えふ^事の^底生活と違つてけりし

お帰^一を^精の^有教の^百性にはあり

は^乳牛^をけりし^ハ、^軍教^致し^ハ

り^也、^上る^性も^来、^誓と^収か^るも^得の

ひ^うら^うも^ちか^う、^牛も^二も^持つ^てけ^りし

金^をの^かの^戦後^の、^誓せんも^石の^流れた^本

の^業が^沈むも、^えふ^のか^しえ^りませ

おし^一を^まを^ま、^まう^にて^一、^証の^致し

た^もも^ちけ^りし^ハ、^無と^思ひ^まり^し、^此

の^一、^三、^手後^はも、^まう^にて^一、^証の^致し

